

令和6年第3回錦江町議会定例会一般質問

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
池田行徳	茶生産の現状と価格低迷への対策について	1. 茶の価格が低迷する中で、今年は一層の不況と聞かれるが、令和6年度の一番茶の価格、質の状況はどうであったか。 2. 肥料価格高騰の対策としての堆肥の更なる活用方法はどのように取り組んでいるのか。 3. 今後消費拡大が見込まれている有機栽培や粉末茶生産への取り組み状況は。 4. 茶園の耕作放棄地の活用策は考えられないか。 5. 経営に苦しんでおられる茶農家への手立てを今後どのように考えているのか。	町 長
	児童生徒の誘致事業と学校給食の無償化について	1. 保育園留学や児童、生徒の誘致事業の親子山村留学の状況と、錦江町のアピールはどのようなものか。 2. 子育て世代への援助として、学校給食の無償化が最も喜ばれ誘致事業にも期待が膨らむがどう考えるか。 3. ふるさと納税を活用して学校給食の無償化はできないか。 4. 池田、宿利原、神川地区の鹿屋市への通勤の良さをアピールして事業の成果向上につなげられないか。	教 育 長 町 長
川越裕子	全国学力テストの結果と対応について	本年4月に小学6年、中学3年を対象に全国学力テストが実施され、その結果が公表された。 1. 本町の結果はどうであったか。 2. 優れていた点、検討が必要な点はどうであったか。 3. 教職員の働き方改革や研修等の実情について。 4. 不登校児の実態とその対策については十分か。 5. 来年度小学校再編成に向けての対応について伺う。	教 育 長
浪瀬亮祐	地震災害時の備えについて	消防白書において備蓄物資、備蓄倉庫等の状況の中で、災害に備えて地方公共団体は、食糧、飲料水等の生活必需品、医薬品及び応急対策や災害復旧に必要な防災資機材の確保を図るため、自ら公的備蓄を行うほか、民間事業者等と協定を結び、震災時に必要な物資の流通在庫を確保することに努めているとなっているが、避難所の状況を含め、本町においてはどのようなになっているか。 また、地域や各家庭における地震対策に対しての周知はできているか。	町 長

	買物弱者対策について	高齢による運転免許返納や地元商店の閉店により、買物弱者が急増しているように感じる。あいのりタクシーも一対策ではあるが、他に対策は考えていないか。	町	長
水口孝俊	学校閉校後の跡地利用、管理について	1. 池田中学校、大原中学校が閉校して20年が近い。校舎、体育館、運動場が非常に荒廃している。地域ではどのような利用、活用、管理されているか。	教 育	長
		2. 宿利原中跡、神川中跡はよく再利用されている。南大隅高校田代分校跡地においては、運動場にソーラーパネルが設置され、縫製工場は撤退し、木造校舎は残り、体育館は町の資材置場になっていると感じる。町の管理体制を聞かせてほしい。 3. 町立中学校跡地の場合、このままの状況でいいのか、企業誘致は考えられないか。長く置くと老朽化が進む。解体を考えているのか。 4. 令和7年度は小学校の統合も進んでくる。跡地利用については、地域の意見が重要と思うが、ビジョンがあるのか。また、他町村の廃校跡地の利用状況は。	町	長
久 本 晃	生活困窮対策	人口減少、高齢化、少子化など人口に起因する問題も多いが、原因の一つに生き辛さを抱えている層が多いためと感じる。 基本的には生活困窮者自立相談支援機関に相談する形だと思うが、若い世代での死因1位が自殺となっている現状、別な対応や手段も必要のように思う。 現在、自殺や不登校等の相談や受入れ等を業務委託しているが、一次的に生活環境が落ち着くまでの間や落ち着いた後の自立支援など、空き家等を活用して町独自でサポートする体制を導入する考えはないか。	町	長
	廃校利活用	錦江町には事業後継者や新規就農者の不足など様々な問題がある。それらを解決するために廃校利活用を通して職業訓練や健康促進等に取り組む考えはないか。	町	長
	DX・IoT への取り組み	1. 7月に錦江町 ICT ワークキャンプやアニメ体験教室が行われた。小中学生がゲーム作成の構想やプログラミング、作画やアフレコ等を体験した。楽しみながら形にできる良い機会だと感じる。しかし、せっかく経験しても継続して取り組める環境がなければ、想いや情熱が強いほど、より良い環境を求め、視野を広く持ち、町外に出るきっかけにもなりうる。	町	長

		現在行っているスマホ教室のように、パソコン操作やプログラム、ソフトウェア教室などを行う考えはないか。またコワーキングスペース等にそれらを自習できる環境を整える考えはないか。 2. 町民がデジタルに触れる機会を増やす、職員の知識・技術向上という目的で役場玄関内に Pepper が配置されている。月の稼働率や利用率、過去のシステムアップデートの回数と内容はどうか。また今後はどのように運用するのか。 3. リモコン式の自動草刈り機を導入したが、運用・管理状況はどうか。	
染川金治	学校給食と給食センターの今後について	1. 給食費の保護者負担の軽減についての町の考えは。 2. 給食センターの場所も含めた新しい建設の考えと計画は立てられないか、町長の考えを伺いたい。	町 長
	町有林の今後の計画について	1. 間伐や植林等を含めた再造林をどのような計画で進めていくのか伺いたい。	町 長
久保勇太	重層的支援事業に関して	1. 地域共生社会の実現を目指すための体制整備事業として、社会福祉法の改正により「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が、令和3年4月1日より創設されている。 本町も急速な少子高齢化が進展する中で、本町の活力を維持し、地域の存続を図るためには重層的支援体制の整備が急務であるが、本町では当事業にどのように取り組んでいるか。 2. 重層的支援体制整備事業はすべての住民を支援の対象とするものであり、地域共生社会の実現を担う中核事業となる。先の6月議会で述べた通り、2035年の人口予測は4,486人、2045年は3,183人、2055年は2,154人と予測されている。人口規模が現在の約1/2～1/3になると見込まれる2045年度や2055年度においては、子どもから高齢者、障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会が実現していなければ、本町の存続が非常に危ぶまれる。本町としては、どのような地域共生社会を目指すのか。 3. 地域共生社会を目指す地域拠点として、閉校予定となっている各地域の小学校や閉校した中学校跡地の利活用が有望であると考えられる。例えば、就学前児童の保育サービス、就学児童生徒の放課後等デイサービスやフリースクール事業などの子育て	町 長

		て支援事業、地域の公民館と一体となった地域サロンや地域食堂の展開、地域スポーツイベントの開催といった地域活性化事業、整骨院などの準医療サービスの提供、そして農産物の1次加工所や全世代を対象とした就労支援事業の展開、そして介護サービス事業の提供など、地域拠点を中心に地域を存続していくための様々な事業の展開が考えられる。すでに一部の小学校では閉校後の具体的な事業計画の策定が進んでいるが、本町としてはこのような重層的支援体制の整備を目指す町内の取組に対してどのように支援していくのか。		
減災・防災対策に関して	1. 令和6年8月8日に初の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が出され、幸いにして今のところ大きな災害には至っていないが、台風シーズンという事もあり、万が一の時は複合災害へ発展することも懸念される。そのような中、災害発生時には長期的な停電や断水も想定されるが、町民の皆様が非難する各避難施設の自主電源や給水設備の備えはどうなっているか。 2. 消防団で操法訓練などを行っているが、町内各地の消火ホースなど老朽化が進んでいるものもあり、火災発生時など緊急時には使えないものも見受けられる。また、各分団に無線が配置されたが、2、3機程度といざ災害が発生した時には絶対的に数が不足すると伺っている。このような消防整備の導入・更新体制はどうなっているか。 3. 複合災害が発生した場合、大隅半島は構造的に系統が脆弱であり、県道 68 号線や国道 269 号線の基幹配電線が断線した場合や、鹿屋変電所が被災した場合は長期に渡り電力供給が途絶するリスクがある。そのような中、町内事業者が大手エネルギー事業者と VPP（Virtual Power Plant）事業の検討を行っており、非常災害時の供給体制構築準備に入っている。本町としては、このような非常災害時の供給体制構築の検討を行っているか。 4. 病院再整備事業が進んでいるが、多額の補助金を投入する以上、完成した折には地域の避難・防災拠点の役割が求められる。災害発生時は災害拠点病院としての機能が求められるが、どのような設備が導入されるのか。また、南隅 2 町と医師会とどのような災害時医療機関相互支援協定を締結する予定か。	町	長	

小吉昭弘	空き家解体撤去事業補助金要綱の見直しについて	1. 空き家の実態は。 2. 空き家解体撤去事業、補助金要綱の内容は。 3. 過去5年間の申請件数、補助金額は。 4. 近隣町の解体撤去事業の取り組みは。 5. 空き家除去、自治会活動補助金（錦江町地域提案型空き家除去自治会活動事業補助金）の要綱の内容は。 6. 過去5年間の申請件数と実績は。	町	長
	町道厚ヶ瀬線、城元 28・2 付近の道路改良工事について	町道厚ヶ瀬線、城元 28・2 付近の道路は、国道 2 6 9 号塩屋入口から運動公園に向けて約 3 0 0 m 地点の見通しの悪い右カーブである。交通量も多く早期の改良が必要なのでは。	町	長
	町道坂之上線道路の改良工事について	令和 5 年 1 2 月議会の一般質問で町道坂之上線道路の改良工事を行う考えはないか質問したが、その後の取り組み状況は。	町	長